



報道機関各位



平成28年12月9日

室蘭開発建設部 広報官

平成28年8月台風第10号による 胆振^{いぶり}海岸高波被害への緊急的な対策について

平成28年8月に発生した台風第10号の影響により8月30日から各地で風、波が大きくなり、胆振・日高地方では、特に台風が接近した30日～31日にかけて、観測史上最大の有義波^{※1}、風速、最大瞬間風速を観測し、越波による被害が発生しました。

直轄胆振海岸の海岸保全施設被害の対応として、現況復旧及び再度災害防止^{※2}のための緊急的な対策を実施しますのでお知らせします。

※1 有義波：複雑な波の状態を簡単に表す方法として、大きな波高を平均したものです。

※2 再度災害防止：台風第10号により被災した海岸堤防護岸基礎石について、基礎石の復旧に加えて被覆ブロックを施工して補強することにより、高波による被害の再発を防止します。

胆振海岸高波被害の対応についての概要は以下のとおりです。

- 1 気象の概要について（別紙1参照）
- 2 対応の概要について（別紙2参照）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

治水課 課長 高橋 慶久 電話0143-25-7045（内線291）

治水課 上席専門官 石田 時代 電話0143-25-7045（内線407）

胆振・日高地方では、台風第10号の影響により8月30日から各地で風、波が大きくなり、特に台風が接近した30日～31日にかけて、観測史上最大の有義波、風速、最大瞬間風速を観測し、越波による被害が発生。

□ 波浪・潮位の観測状況

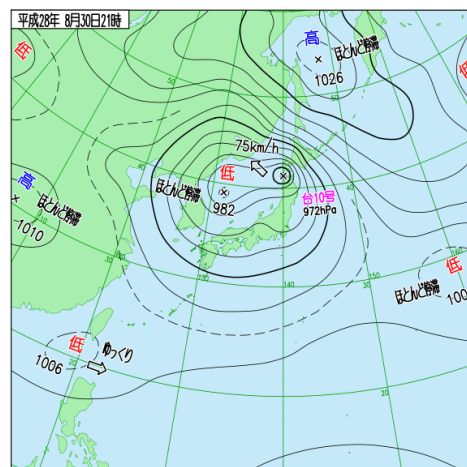
項目	今回の観測値	日時	観測所
風速 (10分平均)	23.6m/s ※1 (風向: 東南東)	8月30日22時40分	白老 (気象庁)
	19.9m/s (風向: 東南東)	8月30日23時00分	苫小牧 (気象庁)
最大瞬間 風速	31.4m/s ※2 (風向: 東南東)	8月30日22時40分	白老 (気象庁)
	30.0m/s (風向: 東南東)	8月30日23時00分	苫小牧 (気象庁)
有義波 (波高)	6.17m ※3	8月31日0時40分	苫小牧 波浪観測所
潮位	T.P.+97cm ※4	8月31日2時25分	苫小牧西港

※1 風速(10分間平均)は、昭和52年からの観測史上第1位

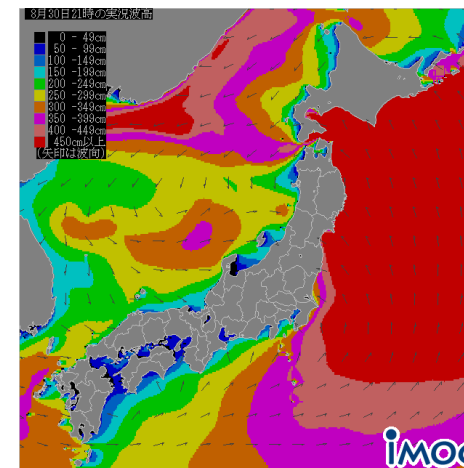
※2 最大瞬間風速は、平成20年からの観測史上第1位

※3 有義波(波高)は、昭和45年からの観測史上第1位

※4 T.P.は、東京湾平均海面(標高0m)



天気図(気象庁HPから)



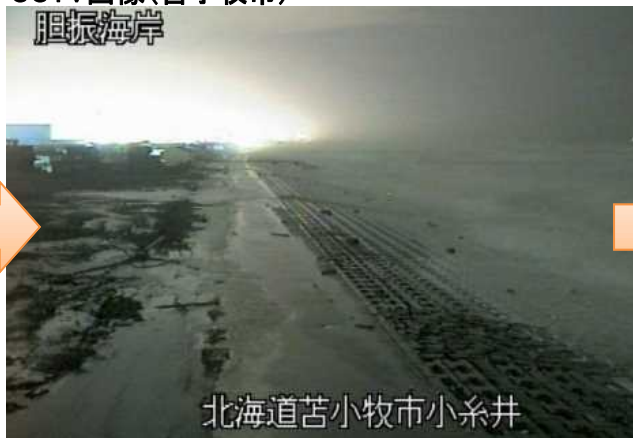
沿岸波浪実況(気象庁HPから)

CCTV画像(苫小牧市)



平常時の状況

CCTV画像(苫小牧市)



越波時の状況(平成28年8月31日01:54)

現地状況写真(苫小牧市)



越波後の状況(平成28年9月9日)

直轄胆振海岸区間内において、海岸堤防護岸ブロックのめくれ、基礎石の飛散などの被害が発生。現況復旧のための災害復旧及び災害推進費を活用した再度災害防止対策を緊急的に実施します。

【胆振海岸(直轄事業:国土交通省)】事業費合計 直轄 約53億円

○主な事業内容

- ・海岸堤防護岸、人工リーフ

○実施事業

- ・直轄海岸災害復旧事業
- ・災害対策等緊急事業(災害推進費)

○事業期間(予定)

- ・平成28年度～平成29年度

災害復旧、災害対策等緊急事業イメージ

